

経営改善及び連携・活用に関する方針 (平成30(2018)年度～令和3(2021)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市生涯学習財団	所管課	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課
-----------------	-----------------	------------	----------------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の施策概要

(1) 法人の事業概要

- ・生涯学習に関する学習機会及び情報の提供並びに活動支援事業(かわさき市民アカデミー協働事業、青少年学校外活動事業、生涯学習プラザ施設提供事業、シニア活動支援事業、生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業など)
- ・生涯学習関連施設管理運営事業(大山街道ふるさと館、子ども夢パークの指定管理)
- ・生涯学習活動及び情報に関する運営管理受託事業(寺子屋先生養成講座の受託など)
- ・収益事業(生涯学習に関する多彩な体験講座事業など)

(2) 法人の設立目的

川崎市における豊かな生涯学習社会の実現を図るため、教育、学術及び文化等に関する各種の事業を行うとともに、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、活力に満ちた市民自治社会の構築に寄与することを目的としています。

(3) 法人のミッション

- ・全市的・広域的な視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を推進します。
- ・シニア活動支援事業やかわさき市民アカデミーへの支援など、市民の高度で専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供します。
- ・中間支援組織の特性を活かして学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等との多様な連携により事業を展開します。

本市施策における法人の役割

本市の生涯学習の推進のために、全市的・広域的視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、シニア活動支援事業、かわさき市民アカデミーへの支援など市民の高度・専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供し、学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等の多様な主体との連携により、市民の学習成果を学校教育や青少年の学校外活動、まちづくりに活かせるよう地域の人材を育成するほか、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進めます。

	市総合計画における位置づけ	基本政策	施策
法人の取組と関連する計画		子どもを安心して育てることのできるふるさとづくり	自ら学び、活動するための支援
	分野別計画	かわさき教育プラン	

現状と課題

社会を取り巻く環境が急激に変化する中で、地域課題や市民生活の多様化によりさまざまなニーズが生じており、行政のみでそれらに応えるには限界があります。生涯にわたって学習し、自己の能力を高め、地域のために活動する人材を育成するとともに、地域課題を学び、解決していくための市民活動を促進することが求められており、公益財団法人の設置目的や役割に基づき、全市的な視点で各事業を継続的・効果的に実施する中で、社会情勢に応じて事業内容を見直すことにより、経営基盤強化などに取り組めます。

取組の方向性

(1) 経営改善項目

- ・公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業による収益増によって、安定的な経営基盤の確保を図ります。
- ・組織体制や事務分担、各事業、委託業務等の見直しにより、効率性を高めることでコスト縮減を図ります。

(2) 本市における法人との連携・活用

- ・本法人への適切な指導を行うことで、行政機関や民間とは異なる中間支援組織の特性を活かした学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等との多様な連携を進め、市民の生涯学習機会の充実を図ります。
- ・シニア世代をはじめとする地域人材の知識と経験を活かして、地域ぐるみで子どもたちの学習や体験をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点をつくる市の「地域の寺子屋事業」との連携を図ります。

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

4カ年計画の目標

本市の生涯学習の推進のために、全市的・広域的視点から市民の課題解決に向けた生涯学習の支援を行うとともに、シニア活動支援事業、かわさき市民アカデミーへの支援など市民の高度・専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供し、学校教育やNPO法人、民間事業者、大学等の多様な主体との連携により、市民の学習成果を学校教育や青少年の学校外活動、まちづくりに活かせるよう地域の人材を育成するほか、市民の誰もが、いつでも、どこでも自主的に生涯学習に取り組めるような環境づくりを進めます。また、公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業による収益増に取り組むほか、組織体制や事務分担、各事業、委託業務等の見直しにより、効率性を高めることでコスト削減を図り、安定的な経営基盤の確保を図ります。

本市施策推進に向けた事業計画

取組№	事業名	指標	現状値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	
①	生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業	事業参加者数	12,094	12,700	12,700	12,700	12,700	人
		事業別の行政サービスコスト	24,285	26,679	26,679	26,679	26,679	千円
②	生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業	ホームページアクセス件数	53,674	54,000	54,200	54,400	54,600	件
		学習情報掲載件数	1,832	1,882	1,932	1,982	2,032	件
		事業別の行政サービスコスト	10,792	11,635	11,635	11,635	11,635	千円
③	寺子屋先生養成事業	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数	48	50	50	50	50	人
		事業別の行政サービスコスト	597	661	661	661	661	千円

経営健全化に向けた事業計画

取組№	項目名	指標	現状値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	
①	自主財源の増加	授業料等収入の増加	24,571	26,201	26,701	27,201	27,701	千円
		施設使用料収入の増加	20,717	20,288	20,788	21,288	21,788	千円
②	財務改善	管理費の縮減	118,125	116,437	115,088	113,711	112,711	千円

業務・組織に関わる計画

取組№	項目名	指標	現状値					単位
			平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	
①	人材育成研修の実施及びコンプライアンスの遵守	研修の実施回数	4	5	5	5	5	回
		コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件
②	事業・業務の点検	実施回数	1	2	2	2	2	回

2. 本市施策推進に向けた事業計画①

事業名		生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業						
指標		事業参加者数						
現状		高い専門性を備えた継続的で系統的な学びの場であるかわさき市民アカデミー協働事業や川崎市の子どもたちが、友好自治体との交流を行うサマーキャンプなどの青少年学校外活動事業、シニア世代を対象に、これまで培ってきた経験や知識を活力ある地域社会づくりや学校支援に活かすシニア活動支援事業などを行っています。						
行動計画		<ul style="list-style-type: none"> ・かわさき市民アカデミー協働事業については、事業広報や会場の確保、対外活動支援等を継続して実施し、参加者の増加を目指します。 ・青少年学校外活動事業については、内容の充実を図るほか事業内容の魅力の向上に努め、参加者の増加を目指します。 ・シニア活動支援事業については、生涯学習ボランティアの養成講座の実施と学校等への生涯学習ボランティアの派遣、学習した知識・経験を活かし地域貢献をめざす市民アカデミー地域協働講座、シニア活動講演会を継続して実施し、生涯学習に取り組むシニア世代の拡充を目指します。 ・その他支援事業については、ランチタイムロビーコンサート等を継続して実施し、本法人が実施する各事業の周知に努めます。 						
スケジュール		現状値		目標値			単位	
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
指標	1	事業参加者数	12,094	12,700	12,700	12,700	12,700	人
		説明 事業参加者数で測ります。						
	2	事業別の行政サービスコスト	24,285	26,679	26,679	26,679	26,679	千円
		説明 直接事業費－直接自己収入						

本市施策推進に向けた事業計画②

事業名	生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業
指標	①ホームページアクセス件数 ②学習情報掲載件数
現状	生涯学習プラザ情報コーナーの紙媒体情報、生涯学習情報誌「ステージアップ」による情報提供を行うとともに、本法人が運営するホームページ「かわさきの生涯学習情報」で川崎市や関連施設・団体等の生涯学習情報を広く情報発信・提供しています。
行動計画	引き続き、生涯学習プラザ情報コーナーの紙媒体情報や生涯学習情報誌での情報提供を行うとともに、本法人が運営するホームページ「かわさきの生涯学習情報」で川崎市や関連施設・団体等の生涯学習情報を広く情報発信・提供していけるようにホームページの充実を図ります。また、情報提供先と連絡を密にし、情報収集の拡充に取り組みます。

スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
指標	1	ホームページアクセス件数	53,674	54,000	54,200	54,400	54,600	件
	説明	情報の発信・提供の効果を具体的なホームページアクセス件数で測ります。						
	2	学習情報掲載件数	1,832	1,882	1,932	1,982	2,032	件
	説明	学習情報の掲載件数で測ります。						
	3	事業別の行政サービスコスト	10,792	11,635	11,635	11,635	11,635	千円
	説明	直接事業費－直接自己収入						

本市施策推進に向けた事業計画③

事業名	寺子屋先生養成事業
指標	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数
現状	市からの委託を受け、市内の各校で実施されている「地域の寺子屋事業」で学習支援の活動をする寺子屋先生を養成する講座を各区で開催しています。
行動計画	「地域の寺子屋事業」の拡充に合わせて、市と連携を取りながら、寺子屋先生養成講座を実施し、寺子屋事業の運営を担う人材の確保を図ります。

スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
指標	1	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数	48	50	50	50	50	人
	説明	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数で測ります。						
	2	事業別の行政サービスコスト	597	661	661	661	661	千円
	説明	直接事業費－直接自己収入						

3. 経営健全化に向けた計画①

項目名		自主財源の増加							
指標		①授業料等収入の増加 ②施設使用料収入の増加							
現状		生涯学習プラザの会議室等の貸出を行っているほか、収益事業として、市民が体力や健康状況に合わせたトレーニングやエクササイズなどに気軽に参加することで、健康な身体づくりや受講生同士の交流を目指すスポーツ教室、手軽に趣味や生活技術を学ぶことや受講生同士の交流を目指す文化教室、陶芸を通して作品に対する豊かな感性を磨くとともに、技術の習得や受講生同士の交流を目指す陶芸教室などを実施しています。							
行動計画		公益財団法人としての使命をより積極的に果たしていくため、収益事業・施設提供事業による収益増によって、安定的な経営基盤の確保を図ります。							
スケジュール		現状値		目標値			単位		
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
指標	1	授業料等収入の増加		24,571	26,201	26,701	27,201	27,701	千円
		説明	授業料等収入の増加により測ります。						
	2	施設使用料収入の増加		20,717	20,288	20,788	21,288	21,788	千円
		説明	施設使用料収入の増加により測ります。						

経営健全化に向けた計画②

項目名		財務改善						
指標		管理費の縮減						
現状		委託費の見直しや消耗品費の見直し等で削減を図っています。						
行動計画		組織体制や事務分担、委託業務、事務経費など恒常的な経費の見直しにより効率性を高めることでコスト削減を図ります。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
指標	1	管理費の縮減	118,125	116,437	115,088	113,711	112,711	千円
	説明	管理費の縮減により測ります。						

4. 業務・組織に関する計画①

項目名		人材育成研修の実施及びコンプライアンスの遵守						
指標		①研修の実施回数 ②コンプライアンスに反する事案の発生件数						
現状		職員等の意欲や能力向上を目的に4回の研修を実施し、人材の育成を図っています。また、コンプライアンスに反する事案は発生していません。						
行動計画		研修の機会を確保し、人材育成研修の充実を図ります。また、コンプライアンスに反する事案の発生件数は0件を維持します。						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
指標	1	研修の実施回数	4	5	5	5	5	回
		説明						
	2	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0	0	0	0	0	件
		説明						

業務・組織に関する計画②

項目名		事業・業務の点検					
指標		実施回数					
現状		年に1回、各事業・業務の成果と課題まとめを行っています。					
行動計画		上半期・下半期に各事業・業務の点検評価を行うことで、課題解消や改善点を迅速に各事業・業務に反映するとともに、次年度の事業計画にも反映します。					
スケジュール		現状値		目標値			単位
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
指標	1	実施回数					
	説明	実施回数により測ります。					
		1	2	2	2	2	回

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方	
		平成29(2017)年度	令和3(2021)年度		
①生涯学習に関する学習機会提供及び活動支援事業					
1	事業参加者数 算出方法 かわさき市民アカデミー協働事業や、青少年学校外活動事業、シニア活動支援事業、その他支援事業の参加者の合計	自己実現を目指す市民の多様な学習活動や交流の状況を、本法人が提供する年間の講座等の参加者数で測ります。	12,094人	12,700人	かわさき教育プランに基づく目標に合わせた目標値を設定しています。過去4年間の最大値12,631人を上回る12,700人を目標値として設定しています。(参考: H26-H29 平均12,051人)
2	事業別の行政サービスコスト 算出方法 直接事業費-直接自己収入	本事業における行政サービスコストを把握する上で必要な指標であり、事業の費用対効果を検証することができます。	24,285千円	26,679千円	本事業の行政サービスコストが増加しないよう、平成30年度の予算額を維持します。平成29年度は決算額が予算額を下回りました(※)が、平成30年度は予算額としています。 ※一部事業の中止などにより減額となりました。(H26-H29平均25,415千円)
②生涯学習に関する情報収集、情報提供及び調査研究事業					
1	ホームページアクセス件数 算出方法 本法人のホームページ「かわさきの生涯学習情報」のアクセス件数	具体的なホームページアクセス件数を確認することにより、幅広い全市民的な学習関連情報の活用状況を測ります。	53,674件	54,600件	本法人の情報だけでなく、NPO、民間業者等の情報掲載を積極的にしていくことで、アクセス件数を増加させていきます。過去4年間の最大値54,204件より約400件の増加を目標値として設定しています。(参考: H26-H29 平均53,078件)
2	学習情報掲載件数 算出方法 本法人のホームページに掲載された学習情報の件数	市民の学習機会の拡大につながる学習情報提供の状況を具体的な掲載件数で測ります。	1,832件	2,032件	学習情報掲載件数については、平成28年度、平成29年度は市の「ふれあいネット」から学習情報の移管など特殊事情があったため、平成26年度から平成27年度にかけての年間増加数約50件を目標値として設定しています。(参考: H26-H29 平均1,027件)
3	事業別の行政サービスコスト 算出方法 直接事業費-直接自己収入	本事業における行政サービスコストを把握する上で必要な指標であり、事業の費用対効果を検証することができます。	10,792千円	11,635千円	事業の行政サービスコストが増加しないよう、平成30年度の予算額を維持します。平成29年度は決算額が予算額を下回りました(※)が、平成30年度は予算額としています。 ※関係職員の年度途中退職により、人件費が減額となりました。(参考: H26-H29 平均14,864千円)

③寺子屋先生養成事業

1	寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに 参加した人数	学びの成果が地域に還元されている状況を、寺子屋先生養成講座を受講し、地域の寺子屋事業の運営へ新たに参加した人数で測ります。	48人	50人	寺子屋先生養成講座を受講し、地域の寺子屋事業の運営へ新たに参加した人数について、平成29年度の実績値を維持します。(参考:H26-H29平均42人)
	算出方法 寺子屋先生養成講座を受講し、「地域の寺子屋事業」の運営へ新たに参加した人数				
2	事業別の行政サービスコスト	本事業における行政サービスコストを把握する上で必要な指標であり、事業の費用対効果を検証することができます。	597千円	661千円	事業の行政サービスコストが増加しないよう、平成30年度の予算額を維持します。平成29年度は決算額で、平成30年度以降は予算額としています。(参考:H27-H29 平均361千円)
	算出方法 直接事業費ー直接自己収入				

経営健全化に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	令和3(2021)年度	

①自主財源の増加

1	授業料等収入の増加	本法人の自己収入である授業料収入を把握することで、経常収支の改善に向けた取組の効果を測ります。	24,571千円	27,701千円	本法人の経常収支の改善に向け、年間500千円の増加を目指します。(参考:H26-H29 平均22,703千円)
	算出方法 授業料等収入額				
2	施設使用料収入の増加	本法人の自己収入である生涯学習プラザの会議室等の施設使用料収入を把握することで、経常収支の改善に向けた取組の効果を測ります。	20,717千円	21,788千円	本法人の経常収支の改善に向け、年間500千円の増加を目指します。(参考:H26-H29 平均26,617千円)
	算出方法 施設使用料収入額				

②財務改善

1	管理費の縮減	本法人の管理費の縮減を把握することで、経常収支の改善に向けた取組の効果を測ります。	118,125千円	112,711千円	本法人の経常収支の改善に向け、年間約1,000千円の縮減を目指します。(参考:H26-H29 平均120,019千円)
	算出方法 管理費の額				

業務・組織に関わる計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	目標値の考え方
		平成29(2017)年度	令和3(2021)年度	
①人材育成研修の実施及びコンプライアンスの遵守				
1	研修の実施回数	4回	5回	人材育成の一層強化に向けて年間5回の実施を目標値に設定しました。 (参考:H27-H29 平均2.6回)
	算出方法 研修の実施回数			
2	コンプライアンスに反する事案の発生件数	0件	0件	本法人において、コンプライアンスに反する事案発生件数0件を目標値に設定しました。 (参考:H26-H29 実績0回)
	算出方法 コンプライアンスに反する事案の発生件数			
②事業・業務の点検				
1	実施回数	1回	2回	半期ごとの点検実施により、改善策等を迅速に反映できるよう年2回の実施を目標値に設定しました。 (参考:H26-H29 平均1回)
	算出方法 点検の実施回数			

[平成30年度～平成33年度]

法人名： 公益財団法人川崎市生涯学習財団

(単位：千円)

項目			決算	予算	計画		
			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
経常収支	収入	事業収入	45,289	46,489	47,489	48,489	49,489
		補助金収入	138,090	138,934	138,934	138,934	138,934
		指定管理料収入	93,271	93,271	93,271	93,271	93,271
		委託費収入	5,488	4,923	4,923	4,923	4,923
		寄付金収入	22	33	33	33	33
		雑収入	4,689	4,245	4,245	4,245	4,245
		その他収入	9,553	2,237	2,237	2,237	2,237
		経常収入合計	296,402	290,132	291,132	292,132	293,132
	支出	事業費	179,183	189,223	188,895	188,855	188,733
		管理費	118,125	116,437	115,088	113,711	112,711
		減価償却費(△)	△ 1,367	△ 1,306	△ 629	△ 212	△ 90
		期首商品棚卸高(△)	△ 92	△ 200	△ 200	△ 200	△ 200
		経常支出合計	295,849	304,154	303,154	302,154	301,154
		経常収支	553	△ 14,022	△ 12,022	△ 10,022	△ 8,022
投資収支							
投資等収支	0	0	0	0	0		
財務収支							
財務収支	0	0	0	0	0		
現金預金増加高			553	△ 14,022	△ 12,022	△ 10,022	△ 8,022
期首現金預金			119,716	120,269	106,247	94,225	84,203
期末現金預金			120,269	106,247	94,225	84,203	76,181